

2014年度 学校関係者評価
報告書

学校法人滋慶学園
東京メディカル・スポーツ専門学校

作成日:平成 26 年 6 月 19 日

学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校
学校関係者評価委員会報告書

議事録作成者:藤田 直人

1. 開催日時 平成 26 年 6 月 19 日(金) 15:00~17:00
2. 開催場所 滋慶学園東京本部会議室
3. 参加者 学校関係者評価委員

(氏 名)

藤野 浩一郎 業界関係者(一般社団法人TMG本部 人事副部長)
高井 豊 業界関係者(医療法人社団森山会リハビリテーション統括部長)
宇梶 義男 業界関係者(ムーヴアクション株式会社 代表)
牛込 公一 卒業生代表(有限会社ティール・シー・ティー 代表取締役)
安達 史枝 保護者代表
森 章 高校関係者(拓殖大学紅陵高等学校 学校長)
田中 英理 近隣関係者(行船管理有限会社 副社長)

学校側参加者

浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園	理事長
平田 豪成	同	常務理事
古島 昭博	同	評議員
関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校	学校長
中嶋 すぎ子	同	事務局長
伊藤 尚司	同	教務部長
渡辺 三郎	同	事務部長
藤田 直人	同	学生サービスセンター長

4. 会議議題

- (1) 委嘱状交付
- (2) 自己紹介
- (3) 平成25年度自己評価と平成26年度重点目標説明
- (4) 質疑応答

○中嶋局長より平成25年度実績と平成26年度重点目標について報告

成果報告(就職)

卒業生数	192 名		
就職希望者数	185 名	【就職希望率】 96.4 %	
内定者数	185 名	【内定率】 100 %	【就職者率】96.4 %
専門職内定者数	180 名	【専門職就職率】 96.6 %	
求人数(件数)	1,192 件	6.4 件/学生一人	
求人数(人数)	3,117 人	16.8 人/学生一人	

成果報告(国家試験合格率)

資格	学科	合格率	全国平均
柔道整復師	柔道整復師科Ⅰ部	92.3 %	91.3 %
	柔道整復師科Ⅱ部	96.4 %	
はり師	鍼灸師科Ⅰ部	95.2 %	91.1 %
	鍼灸師科Ⅱ部	92.6 %	
きゅう師	鍼灸師科Ⅰ部	95.2 %	92.4 %
	鍼灸師科Ⅱ部	96.3 %	
理学療法士	理学療法士科Ⅰ部	96.3 %	88.4 %
	理学療法士科Ⅱ部	88.9 %	

成果報告(退学率)

在校生数	退学者数	退学率
704 名	34 名	4.8 %

○平成26年度 重点目標

- ① 中途退学者数23名(3.3%)
- ② 国家試験合格率の向上

○以下自由討議の内容

【伊藤】4%台の退学率は厳しい状況であった。

【佐藤】理学療法士科は次年度スポーツ系のカリキュラムを入れて特色を出す。

【牛込】最初からアスレチックトレーナー(AT)の資格を取れるシステムを入れたことは評価できる。

外に出るとATの必要性をすごく感じている。また学生の時から仕事に入っていけるような仕組みを作ってほしい。現場で必要とされていることを感じ取って将来に活かしてほしい。

退学者も減ると思う。

【安達】娘もスポーツに関わる仕事をしている。ATは取れていないが仕事ができている。

先生達のバックアップで続けられていると思う。入学前からのモチベーションアップのさせる仕組みがあるのがいい。

【藤野】退学にいたる原因は何か変化があるか。

【伊藤】学業についていけない学生が多い。その対策も実施している。

【藤野】キャリア教育などで収入の面の話しはしているか。

【伊藤】キャリアセンターなどの就職指導でしている。

【中嶋】奨学金の返還やローンの返済などを考えて今後の収入の中でどのようにやり繰りするかを教えるプログラムも取り入れている。

【藤野】職場では、中国人の看護師を採用していて税金の話しを事前にするようにしている。

【宇梶】辞めてしまう学生やトレーナーになれない学生の指導を考えてほしい。自分の会社は、そんな学生が多く入ってくる。根本的にその学生に手を付けないと自分から変化する人間でないので指導(手助け)が必要。

【安達】新聞の販売店に勤めているが、新聞奨学生などは辞めてしまう学生が多い。先輩にやっていることを見て覚えることができないようだ。

【宇梶】人の役に立ちたいと考える子が多いように感じる。「貢献」の言葉に反応するのでは。

【伊藤】一人ひとりに向かい合うことが大切。担任が個別面談を通じて、いろいろな発見がある。まだ導入教育を年4回実施している。スポーツ大会なども学生達で考えさせ、いろいろな気付きも生まれてくる。

【宇梶】人を磨くつもりで職員に対応している。

【伊藤】個々のスキルアップも必要ではないか。

【宇梶】会社も学校も同じを感じる。

トレーナーになる人間より、普通の柔整師になる人が圧倒的に多いはず。レギュラータイプの人を育てる像も打ち出すことも必要ではないか。

トレーナーだけではない。「町のトレーナー」も必要です。